

THE ROTARY CLUB OF TSURUOKA



第 73 回例会

1960年11月15日 (雨)

次 回 例 会
 —— 11月22日 ——
 卓話予定 証券について
 金井国之助君 (会員)

出席報告 谷口出席奨励委員長

本日の出席	会員数	35名	欠席者	池内君 金井(勝)君 大野君 荘司君
	出席数	31名		
	出席率	88.57%		
前回の修正	前回出席率	71.44%	メイクアップ	金井(国)君 酒田RC 海東君 山形RC 池内君 福岡RC 張君 名古屋RC 谷口君 山形RC
	修正出席数	29名		
	確定出席率	82.71%		

司 会 小花会長 (点鐘) ソング 奉仕の理想
 ビジター 村上 徹君 酒田RC リーダー丸谷君
 報告及び連絡 小花会長より

クラブフォーラムの概要に就いて (11月12日 於 殖産相互銀行会議室)

各委員会は今まで如何様に活動して来たか、そして将来如何にして行くかを検討する。

出席者 小花, 張, 三浦, 五十嵐, 鈴木, 飯白, 荘司, 早坂, 佐藤(昇), 三井, 安藤, 佐藤(仁)

丸谷, 田中, 手塚 の諸君

出席奨励委員会 (田中君)

4ヶ月100%の人 20名 11ヶ月100%の人 河村君 10ヶ月100%の人 張君, 早坂君

三井君 以上3名 7ヶ月100%の人 鈴木君, 五十嵐君, 佐藤(仁)君, 手塚君, 鷺田君 5名

6ヶ月100%の人 三浦君 成績少々不良の人 80%台 2名 70%台 3名
 (4ヶ月間)

60%台 2名 50% 1名

メイクアップの奨励, 出席勧誘, 失格者を出さぬように強力に行わねばならない。

鶴岡ロータリー・クラブ

事務所	山形県鶴岡市三日町	例会日	火曜日
	鶴岡商工会議所内 (TEL 123・1563)	例会場	ひさごや (TEL 707)

毎月100%の人にハンカチ贈呈はつづける。出欠照会不要とした人に無届欠席が割合に多い。酒田へのメイクアップを強力に行う方法。例会を両者話し合つて、その間をもう少し開かすことは出来ないか。例会場に出席者掲示など協議す。今度のクラブフォーラムの結果、失格に類した会員を皆んなで努力して救い得て嬉しかった。

職業分類委員会 (手塚君) 会員選衡委員会

委員会としては、市内の職業分類に対しての多くの人をあまりよく知らないで、このような機会に会員全体で気のついたことを委員会に連絡、検討して頂き度い。新会員候補者名簿配布して検討す。

会報委員会 (三井君)

大体活動計画書によつて仕事をしてきた。今後成る可く会員の多くの人に何か機会ある毎に書いて頂き度い。(職業のこと、旅行記、他クラブ訪問記など)会報委員の為に、会員のスピークをなさる方は、その要旨を会報/頁(1,100字内外)にまとめて、原稿を頂ければ有難い。プログラム委員からその点スピーク担当者に連絡して頂き度い。会報発送に就いて佐藤(朋)君より報告

親睦委員会 (五十嵐君)

親睦委員会の中で、受付、スマイル、ゲストの応待等分担してやればもつとスムーズに例会が運営されると思われるが、なかなか委員の方々が多忙の方が多く、会員拡大された後は出来るだけ分担して/人の仕事を少なくする様にしたい。受付は事務員が来たら例会毎に会場入口でやっていただくことにする。

- ◎ 前の活動計画書にもあつた会員の慶弔規定は、親クラブに問合せ中で早々に作る予定。
- ◎ スマイルボックスなかなか入りにくい場合があるから、毎月の理事会で、会長、幹事、会計、理事が立合いのもとに開けたい。
- ◎ 親睦委員、幹事、会場監督のタスキを作りたい。
- ◎ 会員の写真入り名簿を作つて行きたい。

プログラム委員会 (鈴木君)

活動計画に基いて順調に行なわれ、殊に年間の活動計画も立ててありその様に進みたい。

- ◎ 会員のスピークの場合、会報委員に協力する意味で会報/頁位になる程度の抄録を事前に用意して会報委員の方へ提出したら如何。

ロータリー情報委員会 (佐藤(仁)君)

前に一度話題に上つた朝食会、来年少、6月頃は是非実行したい。

弘報委員会 (五十嵐君)

一般情報委員会がこの様に改正された。

- ◎ 以後クリスマス、酒田との合同会等々来年の6月までにかんりの会合があるが、その機会を活用して活動する。

職業奉仕委員会 (早坂君)

- ◎ 会員のスピークの内に職業奉仕についての話を多く希望したい。
- ◎ 職業奉仕の一つをテーマ、例えば雇主と従業員間の諸問題等一つのテーマを決めてディスカッションを始めたい。
- ◎ これから就職の時期に入るが、就職の世話を出来るだけやる。

社会奉仕委員会 (莊司君)

- ◎ 東京大会のクラブフォーラムで問題になつた事だが、善行者の表彰という事について、ロータリーとしては表彰という言葉ではなく、その善行者に感謝するという意で感謝の言葉を使う様にしたい。

- ◎ 植樹の問題だが、市内三中とも非常に喜んでくれた。ただ各学校共、土質、野風、時期に難点もあつたが、出来るだけ学校側の意を入れて実行する。
- ◎ 市立図書館へ文庫寄贈の件について、図書館側と話し合いをしたが、閲覧の事で一寸困難があり書架を寄贈する事にした。
- ◎ 創立記念日に善行者感謝の会をやるが、盲学校の小使さん（高橋）が数年間にわたり自分で点訳をして下積みの努力を続けているが、その方に感謝する会を記念日に行つたらどうか。

国際奉仕委員会

会長をはじめ会員が2名も海外へ行き、他クラブに決しておとらない、むしろ勝れた活動が当クラブでは持つことが出来た。

- ◎ 近々実行しなければならぬ事に、クリスマスカード切手、苗種の発送をしたい。
- ◎ Sister City ニューブランズウィックへ児童画を送りたい。
- ◎ 海外から送られて来たバナーの返礼の手紙に会場に掲げたバナーや会員の写真を揃へて送りたい。

幹事報告 小池副幹事

- (1) チャーター御案内 立川RC 12月2日(金)午後1時30分 於 立川商工会議所ホール
登録料金 2,000円
- (2) かねて話のありました山形RCの手で作られました、県内RCの名簿、送付されて来ました。非常に便利なもので大変喜ばれました。当日御出席の会員には配布しましたが、欠席された方は後日幹事へ申出下さい。
- (3) 去る9月28、29日地区連合年次大会に御出席されました会員で、大会を記念し東京都へ記念品を贈呈する事に決議されましたので、参加会員1人500円を拠出する事になりました。次回例会場に何卒御用意下さい。

小花君、手塚君、飯白君、安藤君、佐藤(仁)君、五十嵐君、鈴木君、三浦君、大野君、阿部君

会員拡大に就いて

候補者名簿が出来たので候補者に対して紹介者からいろいろ説明、勧誘して頂き度い。特に入会后出席が充分出来るかどうかに注意願ひ度い。10日以内に新会員を決定し12月の第1回例会には新会員の家族の方も招待し度い。

その他

川岸の桜紅葉も散り果て初冬となる。婚礼シーズン。今日は黄道吉日か。当会場も直ぐその会場になるらしい。今日は七五三でもある。

卓 話

SPEAK

ロータリー財団について

国際奉仕委員

安藤 定 助

ロータリー財団 (Rotary Foundation) の歴史

1917年(大正7年) 北米のジョージア州のアトランタ市に開かれたR.1大会で会長の Arch C. Klumph が「我々は教育その他の社会奉仕の為篤志家が全世界に善事を行う為の基金を受けるのが最も機宜を得たことと考える」という演説をして、人々の注目を集めました。之がロータリー財団のそもそもの萌芽であります。

しかしこのサゼッションは多くの人々の賛成は得ましたが、その実現は低調で6年後の基金の寄附総額は僅か709弗でした。

1928年(昭和3年) ミネアポリスの大会で再び前のサゼッションが認められ、現在のロータリー財団の創設となりました。

1937年(昭和6年) 之が法制化され、14年振りでアーク、クランプの発言が漸く日の目を見たことになった。当時の基金は3,739弗

1937年(昭和12年) 以上の成果に勢を得たR,I, 理事会は基金200万弗募集の運動を起こしたのであります。

たまたま第二次世界大戦が起り、しばらく足踏状態となった。

1947年(昭和22年) 即ち終戦後2年目の1月R,I年次理事会2日目にロータリーの創始者Paul F. Harris博士が逝去されました。その報伝わるや、世界中のR,Cから“ポール、ハリスの名誉を記念するため我々は何を為すべきか”と云う声が湧き起り、当時のR,I会長Richard C. Hedke氏とロータリー財団委員長Harry H. Rogers氏はポール、ハリス博士の“ロータリーの精神を世界に理解せしめる”という最後の希望を叶える為にロータリー財団に寄附するように世界中のR,Cに呼掛けたのであります。

又ロータリー財団にロータリー奨学制度とロータリー財団調査団という2つの重要な事業が設けられ、それに終戦によつて派生的に難民救済の事業が設けられました。

1956年(昭和31年) ロータリー財団の奨学制度、調査団、難民救済の三つに分けられていた事業の目的を“奨学制度の完成を含み列国と民間の理解と友宜関係を深め、世界平和を促進するため明確な効果的な計画を助成するにある”と一元化して再表現し今日に至つて居ります。

ロータリー財団の活動

ロータリー財団の活動としては既に着手され、現に実行されている計画は、(1)奨学制度 (2)調査団 (3)困窮家族救済 の三つです。奨学制度については後で詳しく述べることにして先ず

ロータリー財団調査団

甲の国の十分な資格のある専門家を財団の費用で乙の国に派遣し、甲の国ではまだ知られていない、或は適用されていない乙の国の医学、社会学、科学、教育の分野での進歩した現状、技術面等を研究、調査、勉学をさせる制度であります。

財団はその費用によつて特派専門家が1ヶ年間これ等の分野での特別な研究調査、勉学が心おきなく出来る様用意し、しつかりした見聞を得て帰国し、それによつて故国のそれらの分野の基本的な進歩に貢献できるようにするのであります。

奨学制度は学生を送るので調査団は専門家を送るのです。いままでに50人の特派専門家が派遣されております。

ロータリー財団困窮家族の救済

鉄のカーテンの彼方へ取残された前ロータリアンやその家族、戦災を受けた前ロータリアンやその家庭、母子家庭等の救済に今日まで財団から送られた食料品や衣類は12,000個以上に達して居ります。又戦争の結果離ればなれになった家族の再会、捕虜への援助、難民の定住、前ロータリアンの再起等財団の基金が多額に出されて居ります。

ロータリー財団奨学制度

1947年(昭和22年)に発足したもので、国際間の理解と友情を深め、世界平和を促進する道は、先ず国際間のお互いの理解から始まるのが順序であつて、この理想達成の一助として財団が人種、宗教を超越し、すべての国民のうちの若人を他国に派遣し、そこで勉学し、旅行し多くの国民と接し、その生活や思想を理解する機会を与えると云う制度です。

具体的に申せば世界各国の専門学校、大学卒業生のうち厳密な資格審査に合格したものへ、1年間他国の大学に学ぶ費用を給与することで、一面この奨学生は国際親善使節の使

命をも果す仕組になつております。

世界各国というのはR,Cのある世界各国の意味です。又ロータリー主義や目的に反するイデオロギーや政策や目的をもつていると一般に知られている国及び人には資格は与えられない。

奨学生は20代の若人に限られますが、勉学期間中できる限り滞在する国のR,Cや家庭諸事務所等を訪問する義務があり、またその国のR,Cは費用をクラブ持ちで彼等を招待する例になつております。

それがため学生はその国の歴史、文化、経済、地理などに通暎するに多大の便宜を与えられ、同時にその国に自国の文化、思想その他の事情について語ることになつていて、そこに国際親善使節を云われる所以があります。

学生は以上の責任を果し又1ケ年の短日月に勉学を達成する為にもその国語に熟達していることが必要となつております。

即ち奨学生に合格する人物は、心身共に優秀健全で将来すぐれた指導力を発揮出来る人物で、その国語に熟達していること等が条件として厳密に審査されます。

財団は1947年～48年、発足当時は学生18名、給費額39,817弗(13,936,000円)であつたのが、1958～59年即ち昨年度は学生125名、給費額325,000弗(113,750,000円)となり初年度よりの延人員1,075名、給費額2,712,656弗(949,429,600円)という歴大な数に上つております。

そして之等の学生の出身者は64ヶ国、留学先は43ヶ国にわたり勉学の専攻分野は農業31、経営事務33、化学37、経済学68、教育65、機械97、美術33、歴史61、生産関係11、国際関係政治学165、ジャーナリズム19、哲学12、社会学61、神学62、計1,075と分類され、まさに共産国を除く全世界各国に亘り縦横に文化の交流向上、交歓を力強く推進しております。そしてそれが20代の若人によつて行われているので、この制度の発展とともに明日のロータリー綱領第四の道の促進は期して待つべきものがあると思ひます。

奨学生は現在のところ毎年125名内外となつて居りますが、次第に増加されることは勿論です。しかし現在世界1万余のR,Cから1年に125名内外選ぶので、全地区を125内外に分け、各地区から交代に1名づつ選出する仕組で地区は5名の銓衡委員を設け、厳選の上候補者をR,I本部に推薦し、R,Iは財団委員とR,Iの国際学生交換委員会を開いて再審査し、結果を全R,Cに発表する仕組になつています。

ロータリアンの国際奉仕とロータリー財団

以上の如くロータリー財団はロータリー国際奉仕を力強く実践しているのであつて、その財団が我々ロータリアンの手で維持されているのでありますから、全ロータリアンはたとえ直接外国人と接触しているか否とにかかわらず、等しく国際奉仕に當つてるのであります。

そして各ロータリアンの国際奉仕は手近にいくらかでも高めることができ、これを高めなければロータリアンの国際奉仕の理想の達成は完璧を期し難いのであります。即ち現在の125名を10倍にも100倍にもする必要があり、各ロータリアンがYou are Rotaryで奉仕に努力すれば決して不可能ではないと思ひます。

ロータリー財団の寄附

財団発足以来これに寄附された基金は総額5,500,000弗(1,915,000,000円)以上でそ

のことごとくは世界各国のR,C及びロータリアン各個人からの寄附です。

寄附の方法には次の様なものがあります。

- (1) ロータリアン全部が年額 / 人 / 弗の寄附
- (2) クラブに入会した新会員が / 人 / 10 弗の寄附
- (3) 誕生日ロータリー基金を設け各メンバーが誕生日に応分の寄附をする
- (4) 生命保険の受取人をロータリー財団の名前に指定する
- (5) 会員自身の意志によつて高額年間の寄附
- (6) その他遺産の寄贈、友人その他の死亡を記念する寄附

顕著な寄附に対する表彰には次の様なものがあります。

個人に対する表彰

- (1) ポール、ハリス会員 / 時に 1,000 弗又は年間 1,000 弗以上の寄附者
- (2) ロータリー財団名誉会員 / 時に 500 弗又は年間 500 弗寄附者
- (3) メモリアル、コントリビューター 亡くなつた友人その他を記念して / 年を期して 100 弗以上 500 弗まで寄附した人
- (4) 維持会員 (援助寄附者) / 年を期して 100 弗寄附した人にポケットカードの様式で表彰

クラブに対する表彰

- (1) 100%ロータリークラブ 年間各会員が基礎として 10 弗の寄附を完了し、6月のガバナー報告によつて知らされた時 200%クラブ、300%クラブといろいろあります。
- (2) ロータリー財団支持者 新入会員が / 人 / 10 弗、各メンバーが年間最低額 / 弗の寄附をしているクラブ
- (3) 100%ロータリー財団地区 / 地区の各クラブが 100%の寄附 (/ 人で / 年間 10 弗の寄附) が 6月のガバナー報告に基礎づけられた時

ロータリー財団週間

こうしてロータリー財団は極力全ロータリアン全R,Cの積極的な支持を期待しているのでありまして各R,Cも之に応え、11月15日を含む1週間を「ロータリー財団週間」としてクラブのプログラムに組入れPRを積極的支持を認めておるわけです。

まとめ

今日世界平和の促進ということは全世界人類にとつて最大の課題であります。我々の奉仕の理想であるこの問題に対してロータリー財団が巧みな仕組で着々効果が挙げられており、我々の奉仕によつて財団の基金が / 弗増加すればそれだけ世界平和により近づくのだという自信を与えられることは誠に力強く張り合いのあることで、我々ロータリアンは極力財団基金の拡大を図り国際奉仕の目的達成に努めなければならないと思います。

幸い我がR,Cでは明年度奨学生の推薦を予定して居ります。更に以上の目的達成の為に且つロータリー財団週間を意義あらしめる為に各会員100円の拠金をし、10弗を取纏めロータリー財団基金として寄附し、奉仕の実を挙げることを提案してロータリー財団についてのスピークを終ることに致します。

SMILBOX

(ニコニコ)

誕生祝 大竹君 早退 早坂君,板垣君

ロータリー財団週間 小花君

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

本日の献立

鮭のあんかけ

すずきの刺身

椎茸

とうふ

せり

みそ汁

たくあん

御飯